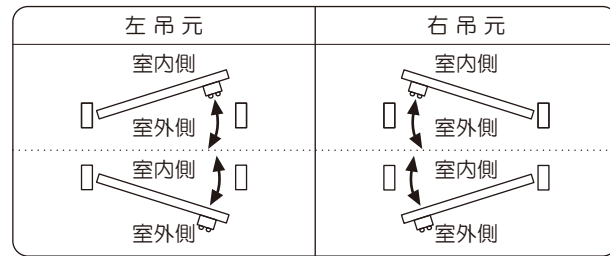


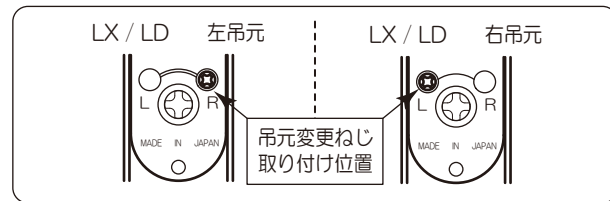
吊元と吊元変更ねじの確認

【１】下図で扉の吊元を確認します。



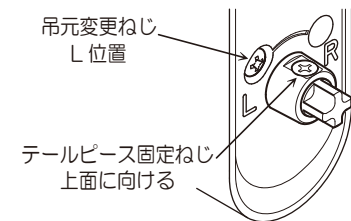
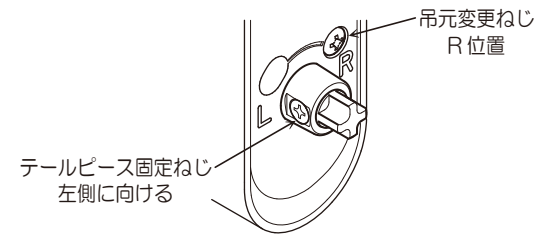
【２】①キーレックス本体裏の吊元変更ねじが下図のようになっているかを確認します。

吊元変更ねじを入れ替えた後、しっかりと締め付けます。



キーレックス本体裏の調整

キーレックス本体取り付け時に、吊元変更ねじとテールピース固定ねじの位置をあわせませす。



記憶番号設定に関するご注意

- KL500 は 1 ～ 12 桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は関係ありません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1 つのボタンにつき設定は 1 回だけです。（同じボタンを 2 度押しする設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為定期的に増し締めしてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンやサムターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - テッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 錠ケースへの潤滑材使用はさけてください。
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



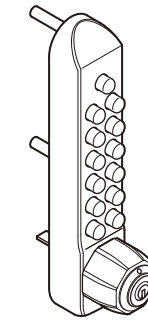
KEYLEX[®] 500

7274811

KL500 鍵付
GOAL (LX/LD)
シリンダー取替

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。
この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22274M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

＜記憶番号の記録＞

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

ただ今の記憶番号

NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032

大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

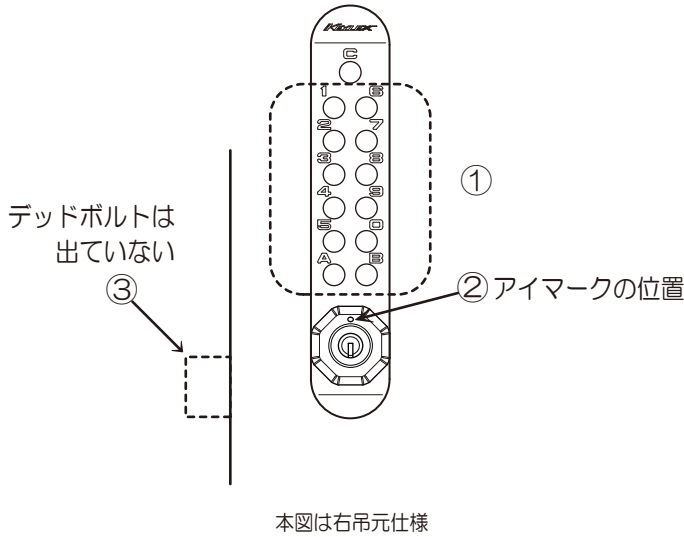
基本操作

シリンダーでの鍵操作がボタン操作に変わります。
ご使用前に確認してください。

- ① 登録している記憶番号
- ② ロックターンのアイマークが 図の位置（真上）にある
- ③ デッドボルトが錠に収まっている
（突き出ている場合は、ロックターンを操作して、
デッドボルトを正常位置に戻す）

※ 記憶ボタン操作の代わりにキー操作でも
施解錠できます。

- 【施錠】シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが出ることを確認します。
- 【解錠】シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが収まることを確認します。



本図は右吊元仕様

室内側

室外側

施錠

- ① サムターンを回します。
- ② デッドボルトが出て、施錠されます。

解錠

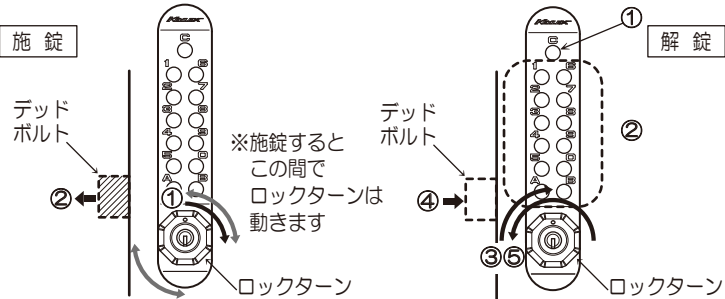
- ① サムターンを回します。
- ② デッドボルトが収まり、解錠されます。

施錠

- ① ロックターンを回します。
- ② デッドボルトが出て、施錠されます。

解錠

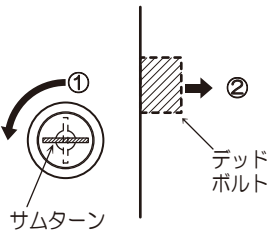
- ① C ボタンを押します：誤操作の記憶号が解除されます。
- ② 正しい記憶番号を押します。
- ③ ロックターンを回しきります（アイマーク：ヨコになる）。
- ④ デッドボルトが収まり、解錠されます。
- ⑤ ロックターンを90° 元に戻します（アイマーク：ヨコ→タテ）。



※施錠すると
この間で
ロックターンは
動きます

施錠

解錠

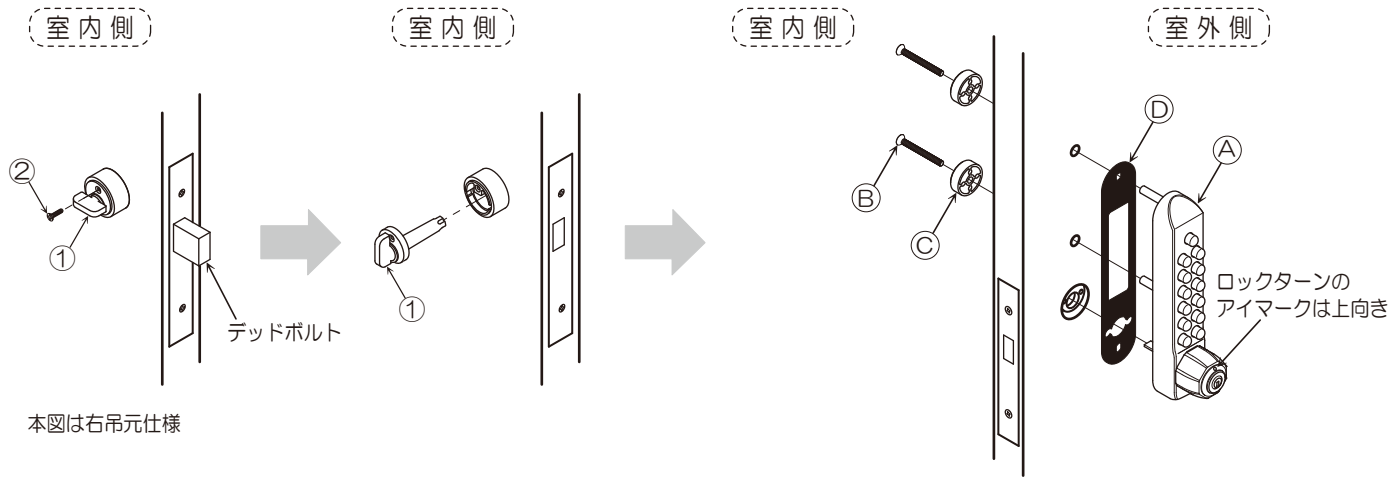


※施錠すると
この間で
ロックターンは
動きます

※ 本図は右吊元仕様です。左吊元時は対称です。

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

【１】キーレックス本体を取り外します 取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください。



本図は右吊元仕様

- I：①サムターン座を 90 度回し
（デッドボルトが出ます）
②サムターン固定ねじを
抜き取ります。
 - II：①サムターン座を
図の向きに戻し、
（デッドボルトが収まる）
抜き取ります。
 - III：④ キーレックス本体の落下に注意しながら、
⑤ 本体固定ねじを外します。
 - IV：④ キーレックス本体、⑤ 室内丸座、⑥ 樹脂ベースを
取り外します。
- ※: 取り付け時は、デッドボルトは解錠状態、
ロックターンのアイマークは上向き、本体裏側の
吊元変更ねじとテールピース固定ねじの位置
（裏面【キーレックス本体裏の調整】参照）をあわせませす。

【２】記憶番号の設定変更をします。

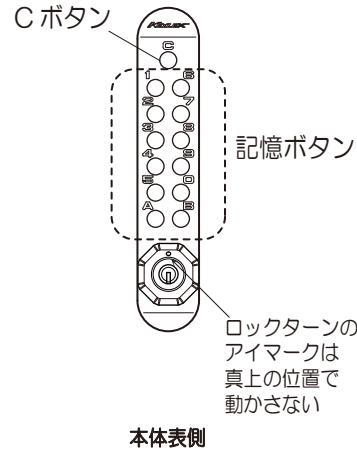
【記憶番号変更の準備】

- ① 本体表側の C ボタンを押します。

⚠ ⑦まで、記憶ボタンは押さないで
ください。

※ C ボタンを押さないと、内部部品が破損する
場合があります。必ず押してください。

- ② 本体を裏返します。

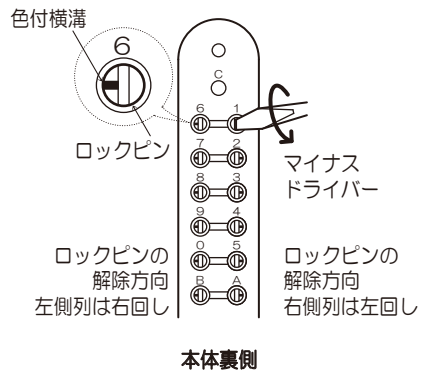


本体表側

【現在の記憶番号を解除】

- ③ 本体裏側の、記憶されている
ロックピンを回転させて
記憶されている番号を解除します。
（ロックピンの色付横溝を外向きに
回転させる）

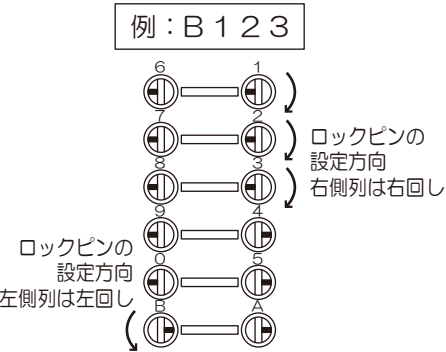
- ④ 本体を表側にし、ロックターンが
左右 90 度ずつ回転する事を
確認します。



本体裏側

【記憶番号の設定】

- ⑤ 新しく記憶させる番号は必ず記録して
ください。本紙表紙に記入欄があります。
- ⑥ 本体を裏返し、記憶させる番号のロック
ピン色付横溝を中央ライン側に合わせませす。



- ⑦ C ボタン + 新しい記憶番号を押し、
ロックターンが解錠方向に回ることを
確認します。

基本操作 室外側欄を参照します。

【３】本体を取り付けます

【１】と逆の順番で取り付けます。

左の基本操作に沿って、作動確認をして完了です。
正しく作動しない場合は、記憶番号、テールピースの取り付け位置、吊元変更ねじの位置と
テールピース固定ねじの向き（裏面【キーレックス本体裏の調整】参照）を確認してください。